

各位

日本言語障害児教育研究会
会長 羽田 紘一

第55回 日本言語障害児教育研究大会の案内

陽春の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
現在、新型コロナウイルスの感染やその影響により、全国各地で学校の休校、学年閉鎖、学級閉鎖が相次いでいます。そのような中ではありますが、第55回日本言語障害児教育研究大会は、

【1】東京会場での開催、【2】YouTubeによる講義動画視聴の両方を企画いたします。
東京会場での開催は、下記の日程で二日間開催し、同一時間帯に『A』『B』『C』の講座を設け、その中から選択できるようにします。講義室の関係により定員制となります。
講義動画は昨年と同じように、日言研HPからパスワードを入力しYouTubeで視聴します。

要 項

【1】東京会場での開催

- 日時 2022年8月4日(木曜日 12:55~16:05), 5日(金曜日 9:05~15:20)
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(<http://nyc.niye.go.jp/>)
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
- 主催 日本言語障害児教育研究会(<http://nichigenken.com/>)
- 後援 文部科学省
- 参加方法・研修費
 - 参加資格 難聴・言語障害教育関係者及び関心のある方
 - 大会研修費 9,000円(8/4の一日の参加は4,000円、8/5の一日の参加は5,000円)
 - 参加定員 8/4; A200人 B120人 C80人 8/5; A300人 B120人 C80人
講座の選択が可能のため、Aが200人、Bが120人、Cが80人ということではありません。
参加人数によって変わります。希望の講座はお早めにお申し込みください。
 - 申し込み期限 7月8日(金)。なお、講義室のいずれかで定員になり次第締め切ります。

【2】YouTubeによる講義動画視聴

【1】で開催した講義の動画をYouTubeから視聴します。期日は8月10日(水)~8月31日(水)を予定しています。8月7日(日)以降に視聴するためのパスワードを連絡します。締め切りは7/8(金)です。

【3】申し込み方法

- 【1】東京会場での開催に参加される方
往復はがきでの申し込み(返信欄文面には何も書かないでください。)
返信宛名欄に、返信先の〒・住所・氏名を、往信文面欄に下記の項目をご記入の上送付してください。
①「参加」と記名してください。②氏名(ふりがな)③連絡先の〒・住所・TEL・FAX④所属名・TEL・FAX⑤難言経験年数⑥希望する講座【1~5-A、B、C】を、右記の記入例のように記入してください。
⑦8/4(木)に会場の宿泊施設を利用される方は、「宿泊希望」と記入してください。個室D棟(バス・トイレ付き)にて、男性15人、女性50人を先着順に受け付けます。宿泊代は、3,700円(食事別)です。男or女を記入してください。宿泊定員になり次第締め切ります。
⑧8/5の昼食の食券の注文を受け付けます。「食券」と記入してください。600円です。
⑨公費で研修費を支払われる方は、振り込みの都合上、公費参加と記入してください。

講座 記入例
1 A
2 B
3 C
4 A
5 B
- 【2】YouTubeによる講義動画視聴を希望される方
往復はがきでの申し込み(返信欄文面には何も書かないでください。)
①「視聴」と記名してください。②氏名(ふりがな)③連絡先の〒・住所・TEL・FAX
④所属名・TEL・FAX⑤難言経験年数⑥公費で研修費を支払われる方は、振り込みの都合上、公費参加と記入してください。
※研修費は、全15講座の視聴で、9,000円です。
- 1、2と同様に日言研のホームページ(<http://nichigenken.com/>)からも申し込みめます。申し込み画面から、あるいは申し込みFAX用紙をプリントアウトしてFAX(下記の番号に)で申し込んでください。
また、複数での参加の場合、まとめてFAXで申し込んでも受付ます。
- 申し込み受付確認後、返信(はがき、メール、FAXの返信等)にて研修費等の振込先を連絡します。
講義室が定員に達した場合は参加できない旨の連絡をします。
- 研修費等の振込みが確認されましたら、順次「講座受講証」を送付します。
- 難言経験年数につきましては参加者のニーズに合わせた講座運営を企画しますので記入してください。
- ホームページから参加申し込みされて3日、はがきでの申込および研修費を振り込まれて10日以上返事が無い場合は、その旨をハガキかFAX、メールにて再度連絡してください。また、学校からのメールの申し込みでは、届かないことや届いても返信ができない場合(セキュリティソフトの関係や、メールアドレスの表記間違い等)がありますので、確認返信メール(返信がすぐ届きます)や振込先の案内メールが届いたかどうかの確認をしてください。個人のプロバイダー等のメールの方が届きやすいです。
- キャンセルや問い合わせはメール(nichigenken@gmail.com)やFAXにて連絡してください。大会開催についての状況や講義室が定員に達しているかどうかを日言研のホームページにその都度掲載します。

○ハガキの送付先
(問い合わせ先)〒276-0041 千葉県八千代市麦丸1136-2 櫻井 正二郎
送信先FAX番号 (FAX専用です) 047-400-6337

【4】研修日程〈講義室は当日お知らせしますが、6月末頃、HPに掲載します〉

8月4日(木曜日) 受付 12:15から

〇 開会式 (12時50分～13時00分) 会場; 当日受付にてお知らせします。
研究会会長挨拶、大会オリエンテーション(各会場にて)

【13:00～14:30】

1A 「言語発達遅滞の評価と支援」 東京学芸大学 藤野 博
言語発達遅滞は様々な原因で起こります。本講義では、ことばの遅れのみ問題を生じ、読み書き障害の原因にもなる「特異的言語発達障害」や自閉スペクトラム症を背景とする語用や会話の問題などに焦点をあてます。そして、それらの障害のことばの発達の特徴、アセスメントと指導・支援・配慮の方法について概説し、子どもの興味関心を活かしたコミュニケーション支援の例なども紹介します。

1B 「吃音の基礎知識と新たな視点」 東京学芸大学 伊藤 友彦
吃音については世界中で多くの研究が行われ続けていますが、原因はまだ明確にはわかっておらず、誤解や偏見が多くみられます。吃音のある子どもたちの理解と支援のためにはこれまでの研究で明らかになっている吃音の基礎知識と最近の知見を理解しておく必要があります。今回は新しい知見として昨年出版された米国の代表的な教科書の中から吃音のある子どもの指導の基礎となる情報を紹介します。

1C 「幼児期の発達とことばの獲得」 元國學院大學 石川 清明
乳幼児期の言語発達は、中枢神経系をはじめ、身体発育、運動機能、知的発達、情緒の分化、社会性の発達など、ほぼ全ての発達の側面と相互に関連しながら急速に発達する特徴があります。その一方で上記の発達上の問題もこの時期から見られはじめ次第に拡大します。言葉を中心に発達の諸側面相互の関連や言語発達の条件に関する基礎知識についての理解を深め、幼児ならびに保護者を対象にした指導のポイントを考えてみます。

【14:55～16:05】

2A 「言語発達遅滞の支援の実際」 東京学芸大学 大伴 潔
本講座では、「語彙を育てる」「文を構成する」「文章で表現する」「効果的に伝える」といった言語領域の発達過程を概観しながら、適切な支援目標の立案と、興味を持たせる課題を通じた支援について考えていきます。言語評価法の例として学齢児版のアセスメント「LCSA」を取り上げ目標設定のあり方を考えるとともに、言語発達支援の効果的なアプローチについて検討します。

2B 「吃音児の理解と支援の実際」 金沢大学 小林 宏明
吃音のある児童生徒の指導・支援では、児童生徒を包括的に理解した上で、保護者や学級担任と連携して家庭や学校の環境調整を行ったり、吃音の一般的知識の学習や自身の吃音の特徴の把握、吃音の言語症状・心理症状を軽減・緩和する方法の習得などを通して、吃音の困難の軽減を図ったり、吃音と折り合いをつける方法を探究したりします。本講義では、事例に基づき、これらについて考えます。

2C 「ことばの育ちを支援する教育・保育臨床」 元國學院大學 野本 茂夫
ことばの問題や悩みのある子どもの臨床相談は、子どもや保護者と信頼関係を築き複雑に絡み合ったことばの育ちの結ばれ(絡み合っただけに解けないこと)を解きほぐしていく協働作業ともいえます。その中でもかかわりの難しい子どものことばの臨床相談では、その結ばれを解きほぐす「緒(お・いとぐち)」を見つけることの難しさに直面します。この講座では、その結ばれを解きことばの育ちを支援する教育・保育臨床の実際を考えます。

※ 備考

- ・大会は、会場施設の感染防止対策を基にして開催します。施設のホームページより「施設利用時の感染症対策について」を参考にしてください。
- ・大会の期間中、関係する感染防止対策として、マスクの着用、三密の回避を基に、施設の正門での検温や手指消毒、講義室前での手指消毒、および講義室の換気や机の消毒等の対策は、受付時にチラシを配布します。
- ・また、施設の宿泊利用者は、施設の健康チェックシートを基に、体調の管理をお願いする予定です。
- ・市役所や学校等からメールで申し込みされた場合、「nichigenken@gmail.com」のWebメールでの返信は、迷惑メールに自動分類されることがありますので、ご注意ください。また、返信メールが不通になり届かない場合は、FAXにて返信します。
- ・申し込みで頂いた個人情報、大会受付やその連絡以外には使用しません。
- ・振り込み後の研修費の返金はできません。都合により参加できなかった方には、大会資料集を送付します。あらかじめご了承ください。なお、本人が参加できない場合は代理人の方が参加できます。
- ・公費振り込みをする上で、請求書等の書類が必要な方は、会計処理の都合上早めにご連絡ください。また、市役所等の振り込みの場合、個人の振り込みとならないように担当者と相談してください。
- ・参加される方は、講座受講証を送付するときに、施設全体の詳しい案内図(次頁「参宮橋より」地図の正門から受付まで)、センター棟(講義室)の見取り図を併せて送ります。また、当日はセンター棟4階406号室の横で受付をしています。各講義室の一覧は、当日配布の大会資料集に記載されます。なお、講義室一覧は6月末にはホームページにてお知らせできます。
- ・大会の企画、講師、テーマ等は、大会運営の都合上、予告なく変更される場合があります。変更等はホームページに掲載しますので、ホームページの最新情報を確認してください。

【9:05~10:35】

3A「構音障害の評価と指導の基本」

昭和大学歯科病院 武井 良子

構音検査を実施したけれど、どの音をどのような順番で指導したらよいかわからないという経験はないでしょうか。この講座では、構音検査結果のまとめ方と検査結果を指導プログラム立案にどう活かすかについて解説します。また、すべての構音障害に共通する構音指導の基本的なポイントについてお話しします。構音指導成功のために絶対に欠かせない「基本」について一緒に見直してみましよう。

3B「子どもの発達を促す関わりことば」

公益社団法人 発達協会 湯汲 英史

子どもが発達する目的ですが、「自分で考えて判断し、適切な振る舞いが取れるようになること」とされます。子どもが判断するときには、基準が必要となります。ところが子どもは、大人のような判断基準を持たずに生まれてきます。大人が子どもに伝えるべき、社会性の育ちと密接に関係する「判断基準=関わりことば」について紹介します。

3C「聴覚障害児の評価と支援」

大東文化大学 齋藤 友介

難聴児をとりまく社会的状況は1990年代から世界的にも激変し、私たちは激動の時代に身を置いています。この講座では「新生児聴覚スクリーニングの普及」「人工内耳装用児の増加」「手話の(再)活用」・・・といった、難聴児に携わる者が避けて通れないそれぞれのキーワードを踏まえつつ、これからの難聴児教育について、皆さんと考えていきたいと思えます。

【11:05~12:35】

4A「側音化構音・口蓋化構音の評価」

昭和大学歯科病院 山下 夕香里

側音化構音と口蓋化構音の指導に日々苦勞されている先生方は多いと思います。側音化構音や口蓋化構音について正しい知識を持つことが初めの一歩になります。音の聞き取りのポイントや異常な舌の観察法について動画を紹介しながら解説します。はじめての先生方は「わかりやすい側音化構音と口蓋化構音の評価と指導法」(学苑社,2020)に目を通していただくとわかりやすいです。

4B「発達障害児の理解と支援」

船橋市立船橋小学校 大山 恭子

発達障害のある子どもは、同じ障害であっても困り感は一それぞれです。そのため、効果的な支援を行うためには、子どもの特性を把握し、その子どもにあった手だてを考えていく必要があります。この講座では、障害の特性に応じた具体的な支援方法(手だて)や、学級担任や保護者、医療との連携のポイントについてご紹介します。

4C「難言教育における子どもとの関わり及び教室経営の基礎・基本」

国立特別支援教育総合研究所 牧野 泰美

きこえとことばの教室は、様々な教育的な関わりや取組を通して、難聴や言語障害のある子どもの暮らしの充実、さらには生き方を支える場としての役割を担っています。きこえとことばの教室の担当者求められること、担当者が大切にすべきことは何でしょうか。難聴・言語障害教育における子ども理解や子どもとの関わり方の視点、子どもを支える上で重要な教室経営の基礎・基本についてお話しします。

【13:45~15:15】

5A「側音化構音・口蓋化構音の指導」

昭和大学歯科病院 山下 夕香里

側音化構音や口蓋化構音のお子さんは、発音時に奥舌が盛りあげたり、前に出すと細長く緊張するなど異常な舌運動がみられます。そのため音を作る指導の前に舌を横に広げて奥舌を下げたり、舌の横の感覚や舌尖のコントロール性を高めるなどの舌のトレーニングが必要です。実際に体験していただきたいので鏡、舌圧子、ストロー(細いもの)、ペンライトをご用意ください。4Aの本が参考になります。

5B「こども発達相談センターにおける発達相談と保護者支援」

船橋市子ども発達相談センター 井上 泉

わが子の発達の遅れや問題行動について気づいたり、初めて指摘を受けたりした保護者は不安になり、動揺します。当センターでは、そんな保護者が、お子さんを理解し、その子らしさを生かした子育てができるように支援をする、幼児の発達相談を行っています。こどもの発達特性を理解する視点、またそれを保護者の理解につなげる上で大切にしている視点等について、事例も交えながらお話しします。

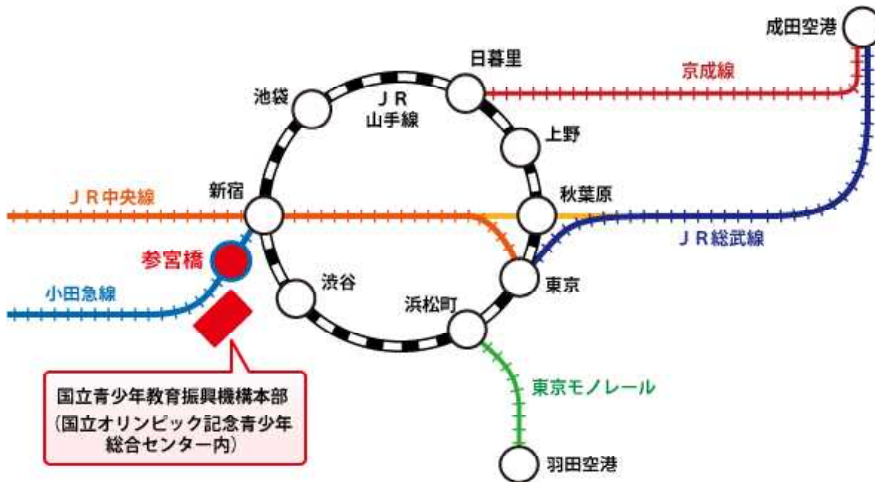
5C「聴覚障害児の支援の実際」

筑波技術大学 長南 浩人

発達早期に聴覚障害を有した子どもの多くは、言語や認知、学力、社会性、感性など多様な発達面で健聴児とは異なる育ちを見せます。本講座では、その具体例を通して何が育ちの課題であるのかを明らかにし、またそれに対して心理学的な考察を加えることで、聴覚障害児が見せる育ちの「なぜ？」を考えます。さらに、これを踏まえた授業デザインと日々のコミュニケーションの在り方を検討します。

【5】会場案内(下記案内図は国立オリンピック記念青少年総合センターのホームページより)

【鉄道案内図】



■ JR中央線新宿駅より
小田急線各駅停車乗り換え
参宮橋駅下車徒歩約7分
※新宿乗り換えは少し時間
がかかります。

■ 地下鉄千代田線
代々木公園駅下車(代々木
公園方面4番出口) 徒歩約10
分

■ 羽田空港から
東京モノレール浜松町駅
JR山手線新宿駅乗り換え
参宮橋駅下車徒歩約7分

■ 成田空港から
JR総武線 成田エクスプレ
ス約80~90分新宿駅乗り換
え参宮橋駅下車徒歩約7分

【周辺地図】



■ 京王バス
・新宿駅西口(16番)より代々
木 5丁目下車
・渋谷駅西口(40番)より代々
木 5丁目下車
※バスなどの発番線は工事
等で変更になる場合があり
ます。

※会場のセンター棟南側が改
修工事を行っています。

※会場の案内図の詳細は、セ
ンターのホームページ
<http://nyc.niye.go.jp/>
をご覧ください。

※会場に有料駐車場(車両出
入口;参宮橋地図より)があ
りますが空きは大変少ない
です。周辺地図に示しまし
たように有料の代々木公園
駐車場があります。

※会場までのタクシーは、JR
新宿駅西口からが便利で
す。また、京王バスが正門
近くに停車しますので便利
です。

※宿泊につきましては、セン
ター以外では、新宿や渋谷
駅周辺にも多くのホテルが
あります。早めに最寄りの
ホテルにお問い合わせくだ
さい。

※大会の運営等についての問
い合わせは、センターでは
なく日言研事務局にお願
いします。

参宮橋からの【歩道橋】を使った経路



参宮橋からの【横断歩道】を使った経路

